

## 平成24年度における施策評価

## 施策評価調書

|         |              |       |                |    |       |
|---------|--------------|-------|----------------|----|-------|
| 政策コード   | 15           | 政策名   | 安全・安心なまちづくり    |    |       |
| 施策コード   | 1            | 施策名   | 安全・安心な地域づくりの推進 |    |       |
| 幹事部局コード | 5            | 幹事部局名 | 生活環境部          | 担当 | 県民生活課 |
| 評価者・実施日 | 1次評価（生活環境部長） |       | 平成24年7月30日     |    |       |

## 1 施策の方向性（必要性と目的）

県民・事業者・行政が一体となって、犯罪や交通事故が起こりにくい安全・安心なまちづくりを推進するため、住民参加による地域安全・交通安全対策を推進する。  
また、犯罪被害者等への支援や交通安全施設の整備などを総合的に進める。

## 2 施策の状況

## (1) 施策目標及びその達成状況

| ●施策目標(評価指標) |             | 基準値   | 年度  | H22     | H23     | H24     | H25   | 備考           |
|-------------|-------------|-------|-----|---------|---------|---------|-------|--------------|
|             |             | 年度    |     |         |         |         |       |              |
| ①           | 自主防犯活動実施団体数 | 350   | 目標値 | 350     | 350     | 350     | 350   |              |
|             |             | 19    | 実績値 | 395     | 382     |         |       |              |
|             |             | —     | 達成率 | 112.9%  | 109.1%  |         |       |              |
| ②           | 刑法犯認知件数     | 6,134 | 目標値 | 5,500以下 | 5,400以下 | 4,300以下 | —     | 目標、実績とも暦年の数値 |
|             |             | 20    | 実績値 | 5,407   | 4,429   |         |       |              |
|             |             | —     | 達成率 | 101.70% | 121.9%  |         |       |              |
| ③           | 交通事故死者数     | 61    | 目標値 | 60以下    | 40以下    | 40      | 40    | 目標、実績とも暦年の数値 |
|             |             | 20    | 実績値 | 60      | 57      |         |       |              |
|             |             | —     | 達成率 | 100%    | 70%     |         |       |              |
| ④           | 歩道整備率       | 37.7  | 目標値 | 38.8    | 39.00   | 39.20   | 39.40 |              |
|             |             | 19    | 実績値 | 38.60   | 38.80   |         |       |              |
|             |             | —     | 達成率 | 99.5%   | 99.5%   |         |       |              |
| 達成度         |             | —     |     | B       | C       |         |       |              |

達成度 A:「全て達成」 B:「半分以上達成」 C:「達成が半分未満」 D:「全て未達成」 E:「その他」

## (2) 施策の推進状況

## ①地域安全対策の推進

## ■取組内容

○地域住民による自主的な防犯活動が県民運動として着実に継続・発展するよう出前講座、活動力アップセミナーのほか、地域安全マップづくり支援、自主防犯活動団体への青色回転灯等の貸与、「毎週木曜日はチャリで防犯パトロールしよう」事業、シャル・ウィ・ロック事業による鍵かけ運動、見守り隊員への「ありがとう」メッセージ、安全・安心まちづくりフォーラムを実施した。

○また、自主防犯活動優良団体の表彰、「いかのおすし通信」やHPでの情報提供などを推進した。

○また、地域安全対策として警察の「地域安全ネットワーク」や住民団体による地域ぐるみでの防犯活動を県民運動として着実に継続・発展させるよう啓発・支援を行ってきた。

## ■取組の成果

○県民、行政等が連携して子どもの安全確保や犯罪の起こりにくい環境整備に向けた地域安全対策を総合的に推進してきた結果、刑法犯認知件数は10年連続して減少している。

○平成23年の刑法犯認知件数は戦後のはじめて全国最少件数となったほか、人口10万人当たり認知件数（犯罪率）は平成23年も全国一低かった。

### ■課題と今後の推進方向

○地域安全対策については、地域住民による自主的な防犯活動が県民運動として着実に定着し、防犯意識の普及啓発が促進されるよう、防犯に関する総合的な事業を継続・発展させていく。

○今後は、自主防犯活動団体構成員の高齢化や後継者不足が懸念されるので、「いかのおすし通信」等による情報提供、見守り隊員への「ありがとう」メッセージ、安全・安心まちづくりフォーラムの開催や自主防犯活動優良団体への表彰により、活動意識の高揚を図る必要がある。

○平成14年以降、認知件数は減少傾向にあるが、日常を脅かす街頭犯罪等の発生や子どもへの声かけ事案等は依然として発生している。今後も、県民、行政等が連携して効果的な防犯対策により、子どもの安全確保や犯罪の起こりにくい環境整備に向けた地域安全対策を重点的に推進していく必要がある。

## ②犯罪の早期解決と犯罪被害者等支援

### ■取組内容

○警察では、「捜査支援システム」等を効果的に活用し、犯罪の早期解決に向けた捜査活動を推進した。

○秋田県犯罪被害者等支援基本計画推進のため、全市町村の犯罪被害者等支援の総合的対応窓口の担当者に対する研修会を開催するとともに、県、地域振興局、県警、被害者支援センター等との連携を図った。

○犯罪被害者等の相談に応じる担当者向けに被害者の置かれている状況や心情、支援に当たっての留意事項、関係機関や支援団体における支援内容などをまとめた「犯罪被害者等支援ハンドブック」を作成・配付した。

○県民への犯罪被害者等支援の重要性の理解を深めるため、毎年、犯罪被害者週間(11/25～12/1)「県民のつどい」を開催している。

### ■取組の成果

○刑法犯認知件数に対する検挙件数の割合(検挙率)は、平成23年も全国一高かった。

○被害者支援総合的対応窓口担当者研修や犯罪被害者支援フォーラムに対し、参加者からは犯罪被害者に対する理解が深まったとアンケート回答があった。

○昨年4月で県内の全市町村が犯罪被害者等基本条例の制定済みとなった。

### ■課題と今後の推進方向

○昨年度からスタートした第二次秋田県犯罪被害者等支援基本計画を推進するため、犯罪被害者週間「県民のつどい」の開催やHP、各種広報により、県民へ犯罪被害者等への理解や支援の重要性を啓発する。

○犯罪被害者等と直接、接して支援する機会の少ない市町村の総合的対応窓口担当者の理解を深めるため、引き続き窓口担当者を対象とした研修会を開催する。

○社会全体で犯罪被害者等に対する支援を推進していくため、県や関係機関・団体、県民等の責務を明らかにした「秋田県犯罪被害者等支援条例(仮称)」の制定を目指す。

## ③交通安全対策の推進

### ■取組内容

○県民の交通安全意識の啓発・高揚を図るため、季別の交通安全運動や高齢者に特化した交通事故防止対策を実施したほか、飲酒運転の根絶やシートベルト着用の徹底などを県民運動として推進した。

○また、春・秋の全国交通安全運動秋田県中央集会、交通安全功労者表彰、交通安全作品コンクール、飲酒運転追放等競争、交通死亡事故抑止継続市町村表彰等を実施し、交通安全意識の啓発・高揚を図った。

### ■取組の成果

○交通安全意識の啓発・高揚の他、関係機関による交通環境改善、交通取締り等による交通秩序の維持、安全運転確保対策、救助・救急活動の充実などにより、事故件数や負傷者数、死者数は年々減少している。

○平成23年の死者数は57人で、昭和30年以来、56年ぶりに50人台となった。

### ■課題と今後の推進方向

○昨年策定した第9次秋田県交通安全計画では、交通事故のない安全安心な秋田県を目指し、今後5年間の新たな年間目標を死者数40人以下、死傷者数を3千人以下と、厳しい目標にしたが、主な課題は県民自らの意識改革の推進、高齢者と子どもの安全確保、歩行者及び自転車の安全確保、生活道路及び幹線道路の安全確保である。

○目標達成に向け、引き続き県民の交通安全意識の啓発・高揚、交通事故死の半数以上を占める高齢者(自動車運転、自転車運転、歩行者)の事故防止対策、飲酒運転の根絶、すべての座席のシートベルトの着用やチャイルドシートの使用、正しい取り付けの徹底などを県民運動として推進する。

#### ④交通環境の改善

##### ■取組内容

○交通事故を未然に防ぐため、歩道や信号機などの交通安全施設の整備、効果的な交通規制、道路交通情報の充実、県民の交通安全意識啓発等を推進してきた。

##### ■取組の成果

○交通環境の改善の他、交通安全意識の啓発・高揚、交通取締り等による交通秩序の維持、安全運転確保対策、救助・救急活動の充実などにより、事故件数や負傷者数、死者数は減少した。

##### ■課題と今後の推進方向

○第9次秋田県交通安全計画の目標達成に向け、今後とも、交通環境を整備・充実する必要がある。特に高齢者にかかわる交通事故の増加が懸念されるため、横断歩道や信号の充実・整備や自転車道の充実化、交通安全教育を進める必要がある。

### 3 評価

#### (1) 施策幹事部長による1次評価

| 評価結果 | ●施策の推進状況  |
|------|---|
| 概ね順調 | ○春・秋の全国交通安全運動秋田県中央集会、交通安全功労者表彰、交通安全作品コンクール、飲酒運転追放競争、交通死亡事故抑止継続市町村表彰など交通事故防止の啓発や総合的な対策等により、事故件数や負傷者数、死者数とも減少した。<br>○平成23年は、犯罪率が全国一低く、検挙率は全国トップであったことから、県民の体感治安は向上し、地域の安全に向けた施策の推進は概ね順調と考えられる。  |
|      | ●課題と今後の推進方向<br>○地域安全対策については、地域住民による自主的な防犯活動が県民運動として着実に定着し、防犯意識の普及啓発が促進されるよう、防犯に関する総合的な事業を継続・発展させていく。<br>○第2次秋田県犯罪被害者等支援基本計画に基づき、犯罪被害者等の尊厳が守られ、犯罪被害者等に寄り添った総合的な施策を推進していくことで、「犯罪被害者等の立場が県民に理解され、尊重と配慮がなされる安全安心な社会」を目指す。<br>○交通安全については、第9次秋田県交通安全計画推進のため、県民自らの意識改革を強力に推進するほか、関係機関とともに高齢者と子どもの安全確保、歩行者や自転車の安全確保、生活道路や幹線道路の安全確保の効果的な施策を、総合的かつ継続的に推進する。 |

#### (2) 企画振興部長による2次評価

| 評価結果 | ●施策の推進状況    |
|------|-------------|
|      |             |
|      | ●課題と今後の推進方向 |

### 4 評価結果の反映状況等（対応方針）

|  |
|--|
|  |
|--|

### 5 政策評価委員会の意見

|  |
|--|
|  |
|--|